

I. 主要企業の 2009 年 Q3 (第 3 四半期) 動向レビュー

1. BHP Billiton

- ・ 2009 年 Q3^{*1} の銅鉱石生産量^{*2} は、対前 Q2 比 8% 減、対前年 Q3 比 8% 減となった。Escondida 鉱山(チリ)及び Olympic Dam 鉱山(SA 州)の保守作業が影響している。Escondid-Lagna Seca 選鉱場の SAG ミルの修理は 2009 年 8 月に完了した。2009 年 10 月 6 日、Olympic Dam の 2 基の鉱石運搬立坑の内、1 基が故障し、2010 年 3 月まで影響ある見込み。
- ・ 銀生産量^{*3} は、対 Q2 比増減無、対前年 Q3 比 5% 増となった。Cannington 鉱山(QLD 州)及び Antamina 鉱山(ペルー)の鉱石品位の上昇が貢献している。
- ・ 鉛鉱石生産量^{*4} は、対 Q2 比 5% 増、対前年 Q3 比 5% 増となった。Cannington 鉱山(QLD 州)の粗鉱品位の上昇及び処理鉱石比率の上昇が貢献している。
- ・ 亜鉛鉱石生産量^{*5} は、対 Q2 比は 5% 増、対前年 Q3 比 11% 増となった。Antamina 鉱山(ペルー)の鉱石品位の上昇と処理鉱石中の亜鉛鉱石比率の上昇が貢献している。
- ・ ウラン生産量^{*6} は、対 Q2 比 2% 減、対前年 Q3 比 2% 増となった。ほぼ計画通りであるが、2009 年 10 月 6 日、Olympic Dam の鉱石運搬立坑 1 基の故障により、2010 年 3 月までは影響がある見込み。
- ・ ニッケル生産量^{*7} は、対 Q2 比 13% 減、対前年 Q3 比 100% 増となった。対 Q2 比 13% 減は、Kiwinana ニッケル精錬所(WA 州)における水素供給に制限があったこと及び Cerro Matoso(コロンビア)での保守作業が影響している。対前年 Q3 比 100% 増は、前年 Q3 には Kalgoorlie ニッケル製錬所(WA 州)における炉改修作業により減産となった。
- ・ マンガン鉱石生産量は、対 Q2 比 131% 増、対前年 Q3 比 37% 減となった。対 Q2 では市場がやや回復しているものの、需要減に対応する生産調整のための減産(貯鉱を使用)が影響している。2009 年 12 月末にはフル生産に戻る計画である。
- ・ マンガン合金生産量は、対 Q2 比 152% 増、対前年 Q3 比では 69% 減となった。対 Q2 では市場がやや回復しており、在庫はほぼ出荷済である。2009 年 Q3 中に炉が稼働再開しており、2009 年 12 月末には生産能力の 65% まで戻る計画である。

(非鉄金属のみ記載)

*1) 同社の会計年度は 6 月末締であるが、他社との四半期状況比較のため暦年に基づくものとし、7~9 月期を Q3 と呼ぶ。

*2) 精鉱中の金属純分量と SxEw カソードの合計

*3) 精鉱中の金属純分量(Olympic Dam 鉱山・製錬所の精製金、精製銀を含む)

*4) 精鉱中の金属純分量

*5) ニッケル地金及びニッケルマット中の金属純分量(Nickel West)

*6) 精鉱中のウラン酸化物量

*7) Earnings before interest and tax

出典) BHP Billiton Production Report for the year ended 30 September 2009, 21 October 2009

(1) トピックス

- ・2009年Q3は、鉄鉱石及び石油の生産量が四半期生産記録を更新したほか、North West Shelf 石油(WA州)、Hunter Valley 燃料炭鉱山(NSW州)及びZamzama 天然ガス(パキスタン)の生産量が四半期生産記録を更新した。
- ・2009年10月6日、Olympic Dam 鉱山(SA州)の2基の鉱石運搬立坑うち1基(Clark Shaft)が故障した。復旧完了が予定されている2010年3月まで、もう1基(Whenan Shaft)だけを使用するが、鉱石運搬能力は25%にまで低下する見込み。

出典)BHP Billiton Production Report for the year ended 30 September 2009, 21 October 2009

(2) 財務状況

(単位 : m US\$)

	2008年			2009年		
	年計	H1*1	H2	年計	H1*2	H2
売上高	63,714	33,934	29,780	20,431	20,431	
当期利益	11,990	9,373	2,617	3,260	3,260	
売上高利益率(%)	18.82	27.62	8.79	15.96	15.96	
探鉱費 *3	804	308	496	578	578	

*1) 2007年7月～2008年6月の12か月分から2006年7月～2006年12月の6か月分を差引いた数値

*2) 2008年7月～2009年6月の12か月分から2008年7月～2008年12月の6か月分を差引いた数値

*3) 石油を含む

出典) BHP Billiton Result for the Year ended 30 June 2009, 12 August 2009

BHP Billiton Result for the Year ended 31 December 2008, 4 February 2009

BHP Billiton Result for the Year ended 30 June 2008, 18 August 2008

BHP Billiton Result for the Half Year ended 31 December 2007, 6 February 2008

BHP Billiton Result for the Year ended 30 June 2007, 22 August 2007

(3) 生産状況

① 主要鉱産物の生産状況

鉱産物	2008年					2009年				
	年計	Q1	Q2	Q3	Q4	年計	Q1	Q2	Q3	Q4
銅鉱 (k t) *1	717.1	190.7	221.0	159.4	146.0	381.6	116.7	137.8	127.1	
銅地金 (k t) *2	619.6	138.2	169.7	149.5	162.2	492.3	166.1	169.4	156.8	
鉛鉱 (t) *3	243,276	67,885	53,176	58,252	63,963	167,147	47,235	58,542	61,370	
亜鉛鉱 (t) *1	159,010	35,970	43,454	41,716	37,870	130,009	39,397	44,187	46,425	
金 (t) *3	5.1	1.2	1.2	1.3	1.4	4.0	1.3	1.5	1.2	
(oz) *3	163,480	37,515	38,424	41,751	45,790	128,651	41,747	46,993	39,911	
銀 (t) *3	1,314.8	349	287.3	320.4	358.1	942.3	271.5	335.8	335.0	
(k oz) *3	42,272	11,221	9,236	10,300	11,515	30,295	8,730	10,796	10,769	
ウラン(U ₃ O ₈ :t) *4	3,990	993	1,027	1,110	860	3,167	883	1,154	1,130	
ニッケル (k t) *5	162.6	43.0	42.6	26.8	50.2	134.3	47.5	48.6	38.2	
モリブデン鉱石(t) *1	2,189	580	590	608	411	694	337	116	241	
マンガン鉱石(k t)	6,759	1,666	1,851	1,830	1,412	2,389	733	500	1,156	
マンガン合金(k t)	766	192	190	203	181	192	104	25	63	
アルミナ (k t)	4,481	1,095	1,149	1,098	1,139	3,078	1,051	1,108	919	
アルミニウム(k t)	1,242	318	305	309	310	927	304	310	313	
鉄鉱石 (k t) *6	117,522	28,419	29,924	29,824	29,355	85,342	28,188	27,048	30,106	
原料炭 (k t) *7	35,338	6,846	9,132	9,210	10,150	26,460	7,596	9,460	9,404	
燃料炭 (k t)	74,610	19,264	21,353	18,064	15,929	50,467	14,746	17,662	18,059	
石油等 (m boe) *8	136.92	32.73	36.23	34.80	33.16	110.44	31.67	37.56	41.21	

*1) 精鉱中の金属純分量

*2) カソード

*3) 精鉱中の金属純分量 (Olympic Dam 鉱山・精錬所の精錬金、精錬銀を含む)

*4) 精鉱中のウラン酸化物量

*5) ニッケル地金及びニッケルマット中の金属純分 (Nickel West)

*6) Wet t (湿潤重量 t)

*7) 一部、燃料炭を含む

*8) boe : 石油換算バレル

出典) BHP Billiton Production Report for the year ended 30 September 2009, 21 October 2009

② 主要保有鉱山、製錬所の生産状況

鉱山名、製錬所名	2008年					2009年				
	年計	Q1	Q2	Q3	Q4	年計	Q1	Q2	Q3	Q4
Escondida (銅:k t)*1	554.7	157.0	178.2	116.8	102.7	300.9	86.6	111.5	102.8	
Escondida (銅カソード:k t)	148.1	30.1	40.3	35.6	42.1	142.3	45.0	49.4	47.9	
Cerro Colorado(銅カソード:k t)	104.1	28.7	27.3	21.8	26.3	72.6	26.5	27.5	18.6	
Spence (銅カソード:k t)	164.8	41.6	43.0	35.7	44.5	143.5	47.7	44.8	51.0	
Antamina (銅:k t)*1	111.9	24.1	30.8	28.4	28.6	76.3	25.7	26.3	24.3	
Pinto Valley (銅:k t)	50.5	9.6	12.0	14.2	14.7	4.4	4.4	-	-	
Pinto Valley (銅カソード:k t)	6.7	1.8	1.6	1.6	1.7	4.5	1.5	1.4	1.6	
Olympic Dam(銅カソード ER:k t)	182.6	32.9	53.2	51.9	44.6		42.7	42.6		
Olympic Dam(銅カソード EW:k t)	13.4	3.1	4.4	2.9	3.0	129.4	2.7	3.7	37.7	
Cannington (鉛:t)*1	241,437	67,505	52,601	57,768	63,563	164,283	46,259	57,145	60,879	
Antamina (鉛:t)*1	1,839	380	575	484	400	2,864	976	1,397	491	
Cannington (亜鉛:t)*1	59,627	13,735	17,244	14,449	14,199	41,391	12,943	13,258	15,190	
Antamina (亜鉛:t)*1	99,428	22,235	26,210	27,312	23,671	88,618	26,454	30,929	31,235	
Escondida (金:t)*1	2.0	0.5	0.5	0.4	0.6	1.4	0.5	0.5	0.4	
(金:oz)*1	67,392	17,660	17,501	14,391	17,840	48,969	17,469	17,595	13,905	
Olympic Dam (金:t)*2	3.0	0.6	0.6	0.9	0.9	2.4	0.7	0.9	0.8	
(金:oz)*2	94,370	18,555	20,505	27,360	27,950	78,735	23,331	29,398	26,006	
Escondida (銀:t)*1	93.9	24.6	25.5	20.8	23.0	58.1	20.9	21.3	15.9	
(銀:k oz)*1	3,017	790	821	668	738	1,871	673	686	512	
Antamina (銀:t)*1	113.4	25.0	30.9	29.0	28.5	102.1	31.2	38.6	32.3	
(銀:k oz)*1	3,644	803	994	932	915	3,282	1,003	1,240	1,039	
Cannington (銀:t)*1	1,074.9	293.0	223.4	261.0	297.5	759.7	211.6	267.8	280.3	
(銀:k oz)*1	34,558	9,421	7,181	8,391	9,565	24,424	6,802	8,609	9,013	
Olympic Dam (銀:t)*1,*3	25.2	5.3	5.6	7.0	7.3	20.7	6.2	8.1	6.4	
(銀:k oz)*1,*3	826	169	179	244	234	664	200	259	205	
Pinto Valley (銀:t)*1	7.1	1.2	1.9	2.0	2.0	1.7	1.6	0.06	-	
(銀:k oz)*1	228.6	38.4	61.7	65.2	63.3	54	52	2	-	
Olympic Dam (U ₃ O ₈ :t)*4	3,980	993	1,027	1,100	860	3,167	883	1,154	1,130	
Antamina (Mo:t)*1	2,049	580	590	514	365	725	318	166	241	
Pinto Valley (Mo:t)*1	140	-	-	94	46	19	19	-	-	
CMSA (ニッケル:k t)*5	41.6	7.8	10.1	10.7	13.0	38.8	13.1	13.7	12.0	
Yabulu (ニッケル:k t)*5	35.1	6.2	10.3	9.1	9.5	18.1	7.5	7.8	2.8	
Nickel West (ニッケル:k t)*5	85.8	29.0	22.1	7.0	27.7	77.4	26.9	27.1	23.4	
Yabulu (Co:k t)*5	1.6	0.3	0.5	0.4	0.4	0.6	0.2	0.4	-	
Worsley (アルミナ:k t)	2,969	712	768	733	756	2,144	688	747	709	
Paranam (アルミナ:k t)	970	247	240	241	242	530	226	226	78	
Alumar (アルミナ:k t)	542	136	141	124	141	404	137	135	132	
Hillside (アルミニウム:k t)	688	167	170	175	176	530	174	177	179	
Bayside (アルミニウム:k t)	123	44	29	25	25	74	24	25	25	
Alumar (アルミニウム:k t)	179	45	45	45	44	132	44	44	44	
Mozaal (アルミニウム:k t)	252	62	61	64	65	191	62	64	65	
Mt. Newman JV (鉄鉱石:k t)	28,494	7,265	7,013	7,210	7,006	18,452	6,440	5,781	6,231	
Goldsworthy JV (鉄鉱石:k t)	1,215	386	251	232	346	1,266	558	280	428	
Area C JV (鉄鉱石:k t)	33,665	7,114	8,626	9,209	8,716	26,777	9,181	8,407	9,189	
Yandi JV (鉄鉱石:k t)	39,670	10,061	10,622	8,961	10,026	29,025	9,370	9,461	10,194	
Jimblebar (鉄鉱石:k t)	5,215	1,660	1,054	1,461	1,040	3,730	1,070	1,342	1,318	
Samarco (鉄鉱石:k t)	9,262	1,933	2,357	2,751	2,221	6,092	1,569	1,777	2,746	
南ア国内(マンガン鉱石:k t)*6	3,443	877	882	929	755	935	351	156	428	
豪州国内(マンガン鉱石:k t)*6	3,316	789	969	901	657	1,454	382	344	728	
南ア国内(マンガン合金:k t)*6	494	125	124	133	112	86	51	5	30	
豪州国内(マンガン合金:k t)*6	272	67	66	70	69	106	53	20	33	
BMA (原料炭:k t)	23,905	4,232	6,508	6,384	6,781	17,365	5,165	6,378	5,822	
BHP Mitsui Coal(原料炭:k t)*7	5,557	847	1,306	1,633	1,771	3,628	549	1,482	1,597	
Illawarra (原料炭:k t)	5,876	1,767	1,318	1,193	1,598	5,467	1,882	1,600	1,985	
南ア国内(燃料炭:k t)	37,800	11,129	10,960	8,227	7,484	22,234	6,453	7,682	8,099	
米国国内(燃料炭:k t)	14,492	2,636	4,834	4,005	3,017	11,276	2,907	4,207	4,162	
豪州国内(燃料炭:k t)	11,869	2,965	2,934	2,975	2,993	8,980	2,768	3,039	3,173	
コロンビア国内(燃料炭:k t)*8	10,420	2,553	2,625	2,807	2,435	7,977	2,618	2,734	2,625	

*1) 精鉱中の金属純分量

*2) 金地金

*3) 銀地金

*4) 精鉱中のウラン酸化物 (U₃O₈) 量
 *5) ニッケル精鉱、地金及びニッケルマット中の金属純分量
 *6) 100%ベース (BHP Billiton の権益は 60%)
 *7) 100%ベース (BHP Billiton の権益は 80%)
 *8) 100%ベース (BHP Billiton の権益は 33%)
 出典) BHP Billiton Production Report for the year ended 30 September 2009, 21 October 2009

(4) 開発 (非鉄金属)

プロジェクト名 (権益、国)	鉱種	開発費*1 (m US\$)	生産 開始	生産能力*2	進捗状況
Worsley 精錬所拡張 (86%、WA 州)	アルミナ	1,900	2011 年 H1	アルミナ 110 万 t/年	・計画及び予算は計画どおり。 ・設計は 85%完了。 ・建設を開始。 ・資材調達及び契約は順調。
Rapid Growth 4 (RGP4) (86.2%、WA 州)	鉄鉱石	1,850	2010 年 H1	鉄鉱石 26m t/年 追加	・計画及び予算は計画どおり。 ・設計は完了。 ・建設作業は、ほぼ完了。 ・2009 年 Q4 出鉱予定。
Rapid Growth 5 (RGP4) (85%、WA 州)	鉄鉱石	4,800	2011 年 H2	鉄鉱石 50m t/年 追加	・計画及び予算は計画どおり。 ・設計は 80%以上完了。 ・資材調達及び契約は順調。 ・建設は 18%完了。

*1) 権益相当分 *2) 100%ベース 注) m: 百万

出典) BHP Billiton Quarterly Report on Exploration and Development report for the Quarter ended 30 September 2009, 21 October 2009

(5) 探査

・直轄及びジュニア探査企業との提携により、探査を実施。2009 年 Q3 の 3 か月間の BHP Billiton の探
 鉱支出額(石油は除く)は 104m US\$であった。

・探鉱の主な対象鉱種・対象国

鉄鉱石・石炭・ボーキサイト・マンガン：豪州、南米、ロシア、西アフリカ 他

銅(初期探鉱)：チリ、アルゼンチン、ザンビア

ニッケル(初期探鉱)：豪州

マンガン(初期探鉱)：ガボン

ダイヤモンド(初期探鉱)：カナダ

出典) BHP Billiton Quarterly Report on Exploration and Development report for the Quarter ended 30 September 2009, 21 October 2009

2. Anglo American

(四半期毎の財務状況報告がないため、財務状況報告は最新のものを使用)

- ・銅、亜鉛、ニッケルの生産量は、前年同期比でそれぞれ 3.0%増、1.3%減、12.0%増
- ・プラチナ、パラジウム、ロジウムは、前年同期比でそれぞれ 14.0%増、20.2%増、51.7%増

(1) トピックス

- ・今期の銅生産量は、前年同期比 13.4%増の 168.5 kt となった。これは、Los Bronces 鉱山における銅回収率の向上及び生産処理能力の向上と Collahuasi 鉱山における銅品位の向上、銅回収率の向上、生産性の向上によるものである。
- ・今期のプラチナの生産は、19.6t (629 koz)と前年同期比 15.7%増となり、2009 年の年間予定生産量 74.7t (240 moz)の達成に目途がついた。
- ・ペルー南部の Quellaveco 銅山開発は CAPEX25 億～30 億 US\$、2014 年操業開始、2016 年フル稼働生産、銅生産量 225 kt/年を計画している。

(2) 財務状況

(単位：mUS\$)

	2008 年			2009 年		
	年計	H1	H2	年計	H1	H2
売上高	32,964	17,915	15,049	11,132	11,132	
当期利益	5,215	4,281	934	2,970	2,970	
売上高利益率(%)	15.82	23.90	6.21	26.68	26.68	
探鉱費	212	98	114	70	70	

(3) 生産状況

主要鉱産物の生産状況

(純分)

	2008 年					2009 年				
	年計	Q1	Q2	Q3	Q4	年計	Q1	Q2	Q3	Q4
銅鉱石 (t)	641,300	159,000	161,000	148,600	172,700	485,400	151,000	165,900	168,500	
ニッケル鉱石(t)	20,000	4,600	5,000	5,600	4,800	15,000	4,500	5,600	4,900	
亜鉛鉱石(t)	340,500	82,000	88,200	86,500	83,800	263,900	82,800	87,100	94,000	
鉛鉱石(t)	62,900	17,100	14,700	16,700	14,400	49,400	14,600	16,400	18,400	
金(t)	2.4	0.7	0.4	1.3		-	-	-	-	
金(oz)	78,500	23,700	14,100	40,700		-	-	-	-	
白金(t)	74.2	13.3	17.8	16.9	26.2	52.4	12.6	20.3	19.6	
白金(oz)	2,386,600	428,600	572,500	543,200	842,300	1,685,400	404,000	652,400	629,000	
パラジウム(t)	41.0	7.6	9.4	10.0	14.0	29.1	7.3	11.3	10.5	
パラジウム(oz)	1,318,800	245,800	300,800	321,700	450,500	934,700	235,100	361,600	338,000	
ロジウム(t)	9.3	1.8	1.8	2.3	3.3	8.0	2.3	2.8	2.9	
ロジウム(oz)	299,300	57,500	59,400	75,300	107,100	255,900	73,800	90,100	92,000	

(4) その他

- ・2009 年 10 月、Xstrata(スイス)からの対等合併提案について、テイクオーバー・パネル(英国の M&A 自主規制機関)は、Xstrata に対し正式に買収提案するか、買収意向を取り下げるか決めるように要請し、Xstrata は買収提案を取り下げた。その結果、英国の企業買収のルール上、Xstrata は、買収を取り下げた後 6 か月間 Anglo American に対する買収提案が出来なくなった。

3. Rio Tinto

(四半期毎の財務状況報告がないため、財務状況報告は最新のものを使用)

- ・銅鉱石の生産が前年同期比 24%増の 197.9 kt となった。これは、全鉱山で生産量が増加し、特に、Grasberg 鉱山では、生産量の増加と銅品位の向上により著しく生産量が増加した。

(1) トピックス

- ・銅鉱石の生産が前年同期比 24%増の 197.9 kt となった。これは、全鉱山で生産量が増加し、特に、Grasberg 鉱山では、生産量の増加と銅品位の向上により著しく生産量が増加した。
- ・2009 年の銅生産量について、銅鉱石では 780 kt、銅地金では 420 kt を生産する予定である。

(2) 財務状況

(単位 : mUS\$)

	2008 年					2009 年				
	年計	H1		H2		年計	H1		H2	
売上高	58,065	30,005		28,060		19,523	19,523			
当期利益	3,676	6,951		-3,275		2,451	2,451			
売上高利益率%	6.33	23.17		-11.67		12.55	12.55			
	年計	Q1	Q2	Q3	Q4	年計	Q1	Q2	Q3	Q4
探鉱費	1,135	159	242	260	474	356	127	115	114	

(3) 生産状況

① 主要鉱産物の生産状況

(単位 : kt 純分)

	2008 年					2009 年				
	年計	Q1	Q2	Q3	Q4	年計	Q1	Q2	Q3	Q4
銅鉱石	698.5	181.1	210.2	160.0	149.1	602.1	196.0	208.2	197.9	
銅地金	321.6	78.3	82.8	68.9	91.6	306.9	104.3	102.0	100.6	
モリブデン鉱石	10.6	3.4	2.2	2.9	2.0	7.9	2.0	2.5	3.4	

② 主要保有鉱山、製錬所の生産状況

(単位 : kt 純分)

鉱山名、製錬所名	2008 年					2009 年				
	年計	Q1	Q2	Q3	Q4	年計	Q1	Q2	Q3	Q4
Bingham Canyon (銅鉱石)	238.0	44.7	60.2	69.3	63.8	236.7	74.7	86.2	75.8	
Escondida (銅鉱石)	384.5	117.2	128.1	73.2	66.0	232.5	78.1	76.2	78.2	
Grasberg (銅鉱石)	7.1	1.8	1.8	1.8	1.7	75.2	24.7	25.3	25.2	
Northparks (銅鉱石)	19.8	4.1	4.4	5.2	6.1	21.6	6.6	7.4	7.6	
Palabora (銅鉱石)	49.1	12.8	15.1	9.9	11.4	36.0	11.8	13.1	11.1	
Kennecott Utah Copper (SxEw 銅カソード)	200.6	52.1	49.3	40.6	58.6	201.3	68.7	65.1	67.6	
Escondida (SxEw 銅カソード)	77.3	15.7	21.0	18.6	21.9	74.2	23.5	25.7	25.0	
Palabora (SxEw 銅カソード)	43.8	10.5	12.4	9.8	11.0	31.3	12.1	11.2	8.0	

(4) その他

- ・ 特になし

注)m : 百万、k : 千

4. Vale S.A. *US GAAP 準拠

- ・2009年Q3の売上高は前年同期比43.1%減の6,893mUS\$、純利益は前年同期比65.2%減の1,677mUS\$となり、売上高、純利益とも大幅な減少であったが、鉄鉱石及びペレットの輸出増、金属価格上昇により、対前期比売上高、純利益は各々35.6%、112.3%増加した。
- ・2009年7月、ValeがカナダON州に保有するSudbury ニッケル製錬所労組がVale提示の労使協定案を否決し、13日より無期限ストに突入した他、Voisey's Bay ニッケル鉱山においても8月1日から無期限ストに突入した。
- ・7月29日、世界景気後退の影響により中断していたOnça Puma ニッケル鉱山開発プロジェクトを2010年H2生産開始に向け再開することを発表。
- ・2009年9月、ValeがRio Tinto保有のCrumbá 鉄鉱石鉱山を750mUS\$で買収することについて、ブラジル国防委員会が承認。本買収は、同年1月に両社間で基本合意していたもの。

(1) トピックス

【鉄鉱石、ペレット】

- ・2009年Q3の中国向け鉄鉱石出荷は、39.8mt(全出荷量の54.6%)で、3期連続で過去最高を記録した。
- ・鉄鉱石売上高は3,821mUS\$で前期比57.7%増加し、平均鉄鉱石価格は47.82 US\$/tから57.23 US\$/tへ19.7%上昇した。
- ・ペレット売上高は412mUS\$で前期の176mUS\$から234.1%増加し、平均ペレット価格は55.82 US\$/tから66.86 US\$/tまで19.8%上昇した。
- ・2009年1月にRio Tintoとの間で基本合意が為されていたCrumbá 鉄鉱石鉱山買収が当局より承認された。同鉄鉱石鉱山の2008年生産量は、2,032 ktであった。

【マンガン】

- ・マンガン鉱石販売量は244 ktで、同社最大のAzul 鉱山でのメンテナンス作業の影響から、前期比17.8%減少した。

【ニッケル】

- ・finished ニッケルの出荷量は53 ktで、前期比23.2%減少した。アジア向けは全体の65.1%の約35 kt、北米向けが22.8%、欧州向けが11.5%という内訳であった。
- ・2009年7月29日、Vale Incoが60.8%権益を有するPT International Nickel Indonesia株2.07%(205,680千株)をBook-Building方式により算出された91.4mUS\$で売却すると発表した。これにより、Vale Incoが保有する株式は58.73%、住友金属鉱山20.09%、フリーフロート株21.18%となる。PT International Nickel Indonesiaは、インドネシア Sulawesi 島にSoroako 及びPomalaa のラテライト・ニッケル鉱山を有しているが、Pomalaa 鉱山は、2008年5月から無期限操業停止中であり、同社の2008年ニッケル生産量はSoroakoのみで68.3 kt(金属量)でVale全体の2008年ニッケル生産量275.4 ktの24.8%を占める。

- ・7月29日、世界景気後退に伴い中断中の Onça Puma ニッケル鉱山開発プロジェクト (Para 州) を遅くとも 2010 年 H2 生産開始に向け再開すると発表した。これは、2009 年 Q2 の世界ステンレス生産は対前期比 20%伸張しており、フェロニッケル需要増の傾向が認められることに伴うものである。Onça Puma プロジェクトはフェロニッケル年産能力 58 kt で、当初 2010 年 1 月に生産開始予定であった。

【銅】

- ・2009 年 Q3 の銅精鉱出荷量(金属量)は 50 kt で前期比 7.4%減であったが、これは Sudbury 及び Voisey's Bay ニッケル製錬所ストの影響から副産物として銅が生産されなかったことによるものである。

【投資】

- ・現在進行中の非鉄金属に係る主要プロジェクトは以下のとおり。

プロジェクト名 (国名等)	投資額 mUS\$		概要
	2009 年	全体	
Onça Puma (ブラジル)	435	2,297	・58 kt/年(Ni 量)のフェロニッケル生産プロジェクト。2010 年 6 月試運転開始予定
Goro (ニューカレドニア)	520	4,287	・酸化ニッケル 60 kt/年、コバルト 4.6 kt/年生産プロジェクト。2009 年 Q3 にオートクレーブ 1 号機稼働予定。今後 3 年間は試験操業。
Salobo (ブラジル)	375	1,152	・127 kt(Cu 量)の銅精鉱生産プロジェクト。2011 年 H2 生産開始予定で建設工事实施中。
Tres Valles (チリ)	56	102	・チリ第 IV 州 Coquimbo における 18 kt/年の銅地金生産プロジェクト。工事完了は 2010 年 H1 の予定。
Bayóvar (ペルー)	308	479	・3.9mt/年のリン精鉱生産プロジェクト。2010 年 H2 工事完了予定。

(2) 財務状況

(単位 : mUS\$)

	2008 年					2009 年				
	年計	Q1	Q2	Q3	Q4	年計	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高	38,509	8,048	10,897	12,122	7,422	17,398	5,421	5,084	6,893	
当期利益	13,218	2,021	5,009	4,821	1,367	3,830	1,363	790	1,677	
売上高利益率(%)	34.6	25.0	46.0	39.8	18.4	22.0	25.1	15.5	24.3	

(3) 生産状況

1) 主要鉱産物生産状況

(単位：k t)

	2008 年					2009 年				
	年計	Q1	Q2	Q3	Q4	年計	Q1	Q2	Q3	Q4
鉄鉱石	293,374	72,712	76,196	83,252	61,214	168,784	46,754	57,696	64,334	
ペレット	34,252	8,699	8,714	9,514	7,324	13,957	1,736	4,251	7,970	
マンガン鉱石	2,383	541	658	694	491	1,112	113	550	449	
フェロアロイ	475	132	128	130	84	134	48	27	59	
アルミナ	5,028	1,058	1,063	1,309	1,597	4,433	1,482	1,436	1,515	
アルミニウム	543	132	136	140	135	347	121	113	113	
銅	312	73	76	80	82	165	73	61	31	
カリウム	607	166	167	172	102	531	186	159	186	
カオリン	1,129	297	288	314	231	542	138	194	210	
ニッケル	275	61	69	72	73	157	65	59	33	
コバルト(t)	2,828	615	671	750	792	1,442	713	632	97	
プラチナ (t)	5.2	1.1	1.3	1.4	1.3	3.2	1.2	1.5	0.5	
パラジウム(t)	7.2	1.5	1.7	2.1	1.9	4.5	1.6	2.1	0.8	
金(t)	2.6	0.7	0.6	0.7	0.7	1.4	0.7	0.6	0.1	

2) 主要鉱山・製錬所の生産状況

(単位：k t)

鉱山名・製錬所名	2007 年					2008 年				
	年計	Q1	Q2	Q3	Q4	年計	Q1	Q2	Q3	Q4
Carajas(鉄鉱石)	96,495	24,199	23,239	26,751	22,306	63,698	20,277	20,480	22,941	
Azul(マンガン鉱石)	2,003	504	546	561	392	869	43	448	378	
Alunorte(アルミナ)	5,028	1,058	1,063	1,309	1,597	4,433	1,482	1,436	1,515	
Albras(アルミニウム)	455	112	113	115	115	338	112	113	113	
Sossego(銅)	126	30	30	33	33	90	30	29	31	
Sudbury(銅)	115	28	29	31	28	39	25	14	—	
Sudbury (ニッケル)	85	18	20	18	29	42	22	15	5	
Voisey's Bay (ニッケル)	78	18	18	22	19	36	17	16	3	
Indonesia(ニッケル)	68	15	19	19	15	54	16	18	20	

5. Xstrata

- ・ 2009 年 Q3 は、PGM、ニッケル地金、亜鉛精鉱及び鉛地金などの生産が前年比で増加。他方、フェロクロムなどは引続きの生産設備の停止により大幅減産。
- ・ Xstrata は、Angro American への対等合併の提案について 10 月 15 日に撤回。

1. 最近のトピックス

- ・ 2009 年 Q3 の生産は、石炭(一般炭・準軟質炭)、PGM、ニッケル地金、亜鉛精鉱及び鉛地金については前年同期より増加した。
- ・ Xstrata Alloys は、2009 年 Q2 の需要改善により、フェロクロムの設備稼働率を 7 月初旬の 60% から Q3 末までに約 85% に向上した。なお、欧州基準のフェロクロム価格は、Q4 には 2,270 US\$/t(前期比 16%増)となった。
- ・ 10 月 12 日、Xstrata Copper は、Xstrata の所有する El Morro プロジェクト(銅・金)の経営権の 70% を Barrick Gold に 465mUS\$ で売却する契約を正式に結んだと発表した。
- ・ 10 月 15 日、Xstrata Copper は、チリの Lomas Bayas 銅山のマインライフを延長させるべく、2020 年までの 8 年間で 293mUS\$ を投資すると発表した。これにより同鉱山の銅カソードの生産能力は 75,000t/年の水準で継続される見込みである。
- ・ 10 月 20 日、Xstrata Copper は、フィリピンの Tampakan プロジェクト(銅・金)は、精度の向上により埋蔵量が確定 25%増、推定 12%増と発表した。
- ・ 10 月、南アの ATCOM East 一般炭プロジェクトが Xstrata plc 役員会において承認された。本プロジェクトは、Xstrata Coal が所有する ATCOM に統合され、今後 407mUS\$ を投じ、石炭鉱石を 5.7m/t、販売可能な一般炭を 3.1mt/年生産予定である。

2. 財務状況(四半期毎のデータ更新なし)

(単位:mUS\$)

区分	2008 年			2009 年		
	年計	H1	H2	年計	H1	H2
売上高	27,952	16,092	11,860	9,869	9,869	
営業利益(EBIT)	9,645	5,687	3,958	2,815	2,815	
当期純損益(Attributable Profit)	4,698	2,829	1,869	909	909	
資本支出(探鉱費含む)(Capital Expenditure)	5,123	2,164	2,959	1,602	1,602	
銅部門	1,115	434	681	377	377	
ニッケル部門	1,912	771	1,141	474	474	
亜鉛部門	655	305	350	80	80	
その他	1,441	654	787	671	671	

(注) 2006 年のデータは、同年中の買収案件(Falconbridge 社他 2 件)を年計分に換算した、Xstrata 発表による Pro Forma ベースを記載。また、当期純損益(Attributable Profit)は、自社株式分を除いたもの。

3. 生産状況

1) 主要鉱産物生産状況

鉱産物	2008年					2009年				
	年計	Q1	Q2	Q3	Q4	年計	Q1	Q2	Q3	Q4
Xstrata Copper										
銅鉱石(精鉱 t)	952,426	219,978	224,291	234,615	273,542	659,682	217,092	230,417	212,173	
金(oz)	687,212	177,172	154,516	141,478	214,046	394,195	144,746	150,113	141,478	
Xstrata Nickel										
ニッケル鉱(精鉱 t)	54,523	11,785	14,825	13,620	14,293	41,923	15,203	13,302	13,418	
フェロニッケル(t)	18,782	6,866	7,529	4,387	0		-	-	-	
銅鉱(精鉱 t)	27,703	6,789	8,426	6,935	5,553	15,167	7,403	4,467	3,297	
コバルト(t)	1,341	315	368	323	335	1,057	398	367	286	
Xstrata Zinc										
亜鉛鉱(精鉱 t)	861,033	182,702	198,076	241,881	238,374	759,443	221,729	272,079	265,881	
亜鉛地金(t)	795,565	205,682	206,261	208,818	174,804	611,288	190,310	210,943	210,035	
鉛鉱石(精鉱 t)	251,496	64,572	63,181	64,392	59,351	171,324	49,824	20,262	61,239	
鉛地金(t)	220,391	57,374	56,098	46,273	60,646	176,119	61,267	60,549	54,300	
Xstrata Alloys										
フェロクロム(k t)	1,126	305	310	308	203	489	73	171	245	
五酸化バナジウム(k lb)	16,604	4,520	2,407	4,803	4,874	7,039	3,540	3,499	-	
フェロバナジウム(k kg)	3,622	1,057	471	1,026	1,068	1,313	731	582	-	
プラチナ (oz)	138,098					100,014	32,985	30,523	36,506	
パラジウム(oz)	65,774					50,328	15,931	15,792	18,605	
ロジウム(oz)	18,644					15,775	4,881	4,920	5,974	

2) 主要保有鉱山・製錬所の生産状況(四半期毎のデータ更新なし)

鉱山名・製錬所名 (権益比率、記載無きは100%)	2008年			2009年		
	年計	H1	H2	年計	H1	H2
銅 (k t)						
Alumbra (アルゼンティン) 精鉱 (50%)	157	66	91	76	76	
Mount Isa (豪) 精鉱	152	71	81	82	82	
Kidd Creek (カナダ) 精鉱	43	19	24	22	22	
Collahuasi (チリ) 精鉱 (44%)	415	199	216	226	226	
Antamina (ペルー) 精鉱 (33.75%)	344	169	175	160	160	
Tintaya (ペルー) 精鉱	84	33	51	34	34	
Townsville (豪) 地金	267	199	68	131	131	
CCR (カナダ) 地金	345	180	165	139	139	
亜鉛 (k t)						
Mount Isa (豪) 精鉱	283	129	154	154	154	
McArthur River (豪) 精鉱	142	67	75	69	69	
Brunswick (カナダ) 精鉱	222	108	114	122	122	
San Juan de Nieva (スペイン) 地金	450	223	227	243	243	
Kidd Creek (カナダ) 地金	121	74	47	56	56	
鉛 (k t)						
Mount Isa (豪) 精鉱	140	74	66	59	59	
McArthur River (豪) 精鉱	37	18	19	16	16	
Brunswick (カナダ) 精鉱	56	26	30	27	27	
Brunswick (カナダ) 地金	81	42	39	46	46	
Northfleet (英) 地金	139	71	68	76	76	
ニッケル (k t)						
Sudbury (カナダ) Ni-Cu matte*	65	30	35	31	31	
Raglan (カナダ) 精鉱	26	12	14	15	15	
Falconado (ドミニカ) FeNi (85.3%)	19	14	5	0	0	
Nikkelverk (ノルウェー) 地金	89	44	45	42	42	

注) 記載は金属純分で、他者権益分を含む

*マット中のNi量(2008年Q2から公表方式変更)

4. その他

- ・ Xstrata は、2009年6月、Angro America に対して株式交換による対等合併を持ちかけたが、Angro American としては戦略的なメリットに乏しく拒否するとのコメントを発表。
- ・ Xstrata としては、メジャー資源企業として BHP Billiton や RioTinto などに対抗するためには、両社の合併は所有するプロジェクトの鉱種、地域などから相乗効果が極めて高く、双方の株主にとって利益をもたらすものと言及し、交渉を継続していたが、英国の Take Over Panel による交渉期限である10月20日の前の10月15日に本提案を撤回した。

6. Glencore Q3 (2009年7月～9月)

・2009年の第1四半期の主なトピックスとしては、Katanga Miningの株式買い増し、Rusalとのアルミニウム売買契約締結、ペルーSantander銀・鉛・亜鉛プロジェクト開発の本格化などがある。

(1) M&A、業務提携

① Katanga Miningの株式77%を購入。

Katanga Mining (本社: スイス Baar) は250百万US\$相当の株主割当を完了した。その際 Glencore は株式を買い増しし、累計で同社の77%の公開株式を取得した。Glencore は2008年1月に Katanga Mining と統合した Nikanor を権益を保有していた。

Katanga Mining は DRC の鉱業公社 Gecamines とともに DRC に Kamoto 銅・コバルト鉱山、KOV 銅・コバルトプロジェクトを保有する。Kamoto 銅・コバルト鉱山は年産銅70千t、コバルト4千tの生産規模で、埋蔵鉱量は銅3.71%、コバルト0.533%で47.5百万tであり、KOV 銅・コバルトプロジェクトの埋蔵鉱量は銅4.93%、コバルト0.38%で90.1百万tである。(2009年7月)

② Rusal とのアルミニウム売買契約

Glencore と Rusal は少なくとも500千t以上のアルミの売買契約を締結。単価・売買量など詳細な取引条件は明らかにされていない。この報道を受け LME アルミ価格は上昇した。これらのアルミは日本、韓国に売却される見込みである。(2009年9月)

③ 豪 QNI と Yabulu 精錬所からのニッケルの全量引取契約を締結

Glencore は Yabulu ニッケル・コバルト精錬所を保有する豪 Queensland Nickel (QNI) とニッケル地金全量につきオフテイク契約を締結した。Yabulu 精錬所は年産ニッケル地金24千tの生産規模。QNI の社長の Clive Palmer は2009年7月に BHP B より Yabulu 精錬所を購入した。(2009年9月)

(2) 探査開発

① ペルーSantander 銀・鉛・亜鉛プロジェクト開発につき Trevali Resources と合意

Glencore は2009年5月に MOU を締結していたペルーSantander 銀・鉛・亜鉛プロジェクトの開発につき、正式に合意し、Glencore は粗鉱処理量2,000t/dの選鉱プラントの建設を担当するとともに、2百万US\$を探鉱開発資金として Trevali Resources に出資し、Glencore は同プロジェクトからの精鉱を全て引き取ることとなった。同プロジェクトは資源量5.3百万tで平均品位 Zn 3.34%、Pb 1.27%、Ag 38g/t と見積もられている。(2009年9月)

(3) 操業

① ザンビアでの水力発電に投資

Glencore が権益73.1%を保有する Mopani Copper Mines (権益比率 Glencore 73.1%、First Quantum 16.9%、ZCCM 10%) は、Mufulira 銅山、Nkana 銅・コバルト鉱山・コバルト製錬所を操業しており、これらの生産設備への電力供給を目的として Glencore は、ザンビアの CEC (Copperbelt Energy

Company) と共同で、投資額 15 億 US\$ の水力発電所を建設する計画である。なお、2009 年 9 月に CEC は Luanshya 鉱山及び Chambishi 製錬所を含む国内鉱山施設への電力供給量の 25% 増強計画を発表した (2009 年 9 月)

(4) その他

① 融資による救済をしていた La Oroya 製錬所、依然として停止

共同で融資総額 175 百万 US\$ の救済措置をしていた操業停止中のペルー La Oroya 製錬所に関して、2009 年 7 月には、エネルギー鉱山省が PAMA (環境適正化計画) を資本注入の条件としている製錬所を管理している Doe Run Peru 社の提案は受け入れられないとの回答文書を送付し、依然として事態に進展が見られていない。

このような中で Glencore は La Oroya 製錬所向けの精鉱をアジアの製錬所を中心に出荷先に変更することを模索していることを明らかにした。(2009 年 7 月)

② East Tennessee 亜鉛鉱山群を Nyrstar に売却

2009 年 2 月よりメンテナンスなどの理由で操業停止していた East Tennessee 亜鉛鉱山群を Nyrstar に 126 百万 US\$ で売却した。Glencore は同鉱山群を 2006 年に 65 百万 US\$ で取得し、施設改良の投資をしていた。鉱山群の生産能力は亜鉛 62% の精鉱を年産 110 千 t であった。鉱山群は Nyrstar の Clarks 製錬所と Gordonsville 亜鉛鉱山群から 250 マイルと近隣に所在する。(2009 年 9 月)

7. CODELCO

- ・ 2009 年 Q3 の El Abra を除く CODELCO 売上高は、前年同期比 28.8%減の 22.7 億 US\$、純利益は 4.7 億 US\$となった。
- ・ 2009 年 Q3 の銅生産量(El Abra 含む)は、前年同期比 15.1%増の 451 k t となった。
- ・ 2009 年 1～9 月期のキャッシュコスト平均は前年同期の 63.2 ¢/lb から 46%上昇し 92.4 ¢/lb となった。

(1) トピックス

[主要プロジェクトの開発・操業状況]

- ・ チリ第Ⅵ州 El Teniente において 2009 年 8 月下旬から Pilar Norte の坑内掘削を開始。本格操業開始は 2010 年 6 月の予定。
- ・ チリ第Ⅱ州 Radomio Tomic 鉱山 RTS I 計画工事は順調に進捗。工事完了は 2010 年 5 月の予定。
- ・ チリ第Ⅲ州 El Salvador ディビジョンの操業を 20 年間延長するため、El Salvador 鉱山より 8 km に離れた San Antonio 鉱床開発に関する EIS を環境委員会 Conama に提出。このプロジェクトは、San Antonio 鉱床浅部の酸化鉱(鉱量 170mt、品位 Cu 0.52%)を対象とし、2012 年後半から年間 30 kt の SxEw カソードを生産する計画。
- ・ El Salvador 鉱山周辺の探鉱プロジェクト(投資額 13mUS\$)の EIA を環境委員会 Conama に提出。
- ・ チリ第Ⅱ州 Chuquicamata 鉱山の衛星鉱体 Mina Sur 鉱床を、粗鉱品位低下を理由に 2013 年に終掘すると発表。鉱山労働者 213 名は、2014 年操業開始予定の Ministro Alejandro Hales(旧称 Mansa Mina) 鉱山に配置換えされる。Ministro Alejandro Hales の CAPEX 1,728mUS\$、年産銅量 120 kt、マインライフ 12 年の計画。

・ 現在進行中の鉱山拡張プロジェクト

鉱山/プロジェクト	投資額 mUS\$	概要	年間生産 規模 Cu kt	操業開始 予定	進捗率 %
El Teniente 鉱山/ Pilar Norte	121	・新規鉱体開発 埋蔵量:37.6mt 品位:Cu 1.32 %、Mo 0.032 %	55.0	2010 Q2	85.2
Andina 鉱山/ PDA I (Plan de Desarrollo Andina I)	937	・露天掘ピット及び新規選鉱処理系統建設(破碎、磨鉱、浮選設備) ・粗鉱処理:72 kt/日→94.5 kt/日	30.0	2010 Q1	77
Radomio Tomic 鉱山/ RTS I (Radomiro Tomic Sulfide Phase I)	382	・ピット周辺に 110×60 inch のジャイレトリー・クラッシャー設置 ・Chuquicamata まで全長の破碎鉱石運搬用ベルトコンベア敷設 (8.1 km: 鉱石運搬量 100 kt/日) ・Chuquicamata 鉱山での貯鉱場及び配鉱設備建設	160.0	2010 Q2	86.8

[企業、鉱山、開発権益等の買収売却、アライアンス情報]

- ・ SIC(チリ中部電力連結システム)で 450～900 MW の電力供給を受ける長期電力入札で、4 件の応札があった。

- ・ CODELCO 子会社 Energia Minera がチリ第 V 州 Ventanas 南東 5 km に建設予定の石炭火力発電所 (350 MW × 3 基 ; 建設費 1,700mUS\$, 2012 年運転開始予定) について、大気汚染の悪化を理由に地元環境団体が起こした建設反対訴訟をチリ最高裁が却下。

[インフラ、技術開発等]

- ・ チリ第 II 州 CODELCO Norte ディビジョンが 120mUS\$ を投資する低品位鉱リーチング・プロジェクト (Leaching of Low Grade Ore Dum 2, Phase IV-V) の EIA を第 II 州 COREMA に提出。

(2) 財務状況

(mUS\$)

	2008 年					2009 年				
	年計	Q1	Q2	Q3	Q4	年計	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高	8,742	2,865	2,612	1,765	1,500	5,537	1,339	1,923	2,275	
当期利益	1,567	665	724	206	(28)	629	(10)	163	476	
売上高利益率(%)	17.9	23.2	27.7	11.6	(1.8)	28.6	(0.7)	8.4	20.9	

売上高、当期利益は EI Abra 鉱山を除く

(3) 生産状況

① 主要鉱産物の生産状況

	2008 年					2009 年				
	年計	Q1	Q2	Q3	Q4	年計	Q1	Q2	Q3	Q4
銅鉱(k t)	1,548	366	350	392	440	1,273	392	430	451	
モリブデン鉱(k t)	21	7.0	3.0	5.0	6.0	16	5.0	5.0	6.0	

② 主要保有鉱山、製錬所の生産状況

(単位 : k t)

鉱山名・製錬所名	2008 年					2009 年				
	年計	Q1	Q2	Q3	Q4	年計	Q1	Q2	Q3	Q4
CODELCO Norte (100%)	755	184	197	171	203	613	176	215	222	
Salvador (100%)	43	14	11	11	7	46	15	15	16	
Andina (100%)	220	56	47	56	61	159	55	51	53	
El Teniente (100%)	381	93	74	104	110	286	88	98	100	
El Abra (49%)	81	19	21	21	20	59	19	20	20	
Gabriela Mistral (100%)	68	-	-	29	39	110	39	31	40	
キャッシュコスト(¢ /lb)	70.2	41.4	60.1	63.2	70.2	284.8	95.2	97.2	92.4	

生産量は銅金属純分

Q2 以降のキャッシュコストは累積平均

El Abra 鉱山の生産量は CODELCO シェア分

8. Freeport-McMoRan Copper & Gold (FCX)

- ・Grasberg 銅・金山、Tenke Fungurume 銅・コバルト鉱山の生産が順調。
- ・純利益 925mUS\$を確保。対 Q2 比 337mUS\$、57%増。
- ・中断していた南・北米鉱山の開発・拡張工事再開に着手。探鉱事業は凍結継続。

(1) トピックス

① 開発

- ・北米事業：銅減産を継続中。Miami 銅山(米)再開発の動き。
- ・南米事業：銅価低迷により中断していた El Abra 銅山(チリ)の大規模硫化鉱床開発事業及び Cerro Verde 銅山(ペルー)選鉱設備拡張事業の再開に着手。
- ・インドネシア事業：Grasberg 銅・金山では、計画どおりの高品位部採掘に加え、他の高品位部の前倒採掘を実施。Q3 金生産量は 21t となり、対 Q1 比 3t、13%減であったものの対前年 Q3 比 13t、163%増と好調を続けた。ただし、Q4 は品位低下による減産が見込まれている。
- ・アフリカ事業：DRC・Katanga 州の Tenke Fungurume 銅・コバルト鉱山で 3 月下旬から SxW による銅カソードの生産を開始。Q3 には 24 kt を生産し、18 kt を販売した。コバルト生産も Q3 から開始しており、H2 には年産能力銅 250m lb(113 kt)、コバルト 18m lb(8 kt)の体制で操業する。なお、DRC コンゴ政府による契約見直しについて協議中。

② 探鉱

2008 年に行った既存鉱山周辺探鉱で得たデータ解析を中心に実施。2009 年投資額は 75mUS\$を計画(2008 年実績は 248mUS\$)。

(2) 財務状況

(単位：m US\$)

	2008 年					2009 年				
	年計*	Q1	Q2	Q3	Q4	年計*	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高 (Revenues)	17,796	5,672	5,441	4,616	2,067	10,430	2,602	3,684	4,144	
営業利益 (Operating income)	-12,710	2,396	2,053	1,133	-18,292	4,264	672	1,508	2,084	
純利益 (Net income applicable to common stock)	-11,341	1,122	947	523	-13,933	1,556	43	588	925	
売上高利益率(%)	—	19.8	17.4	11.3	—	14.9	1.7	16.0	22.3	
探鉱費(Exploration and research expense)	292	52	80	77	83	73	30	24	19	

* 端数処理の関係で、個別の数字と計とは一致しないことがある。

(3) 主要鉱産物の生産状況

鉱種	鉱山	2008年					2009年				
		年計*	Q1	Q2	Q3	Q4	年計*	Q1	Q2	Q3	Q4
銅 (kt: 金属 純分)	Morenci(85%) **	284	66	70	74	73	147	51	47	49	
	Bagdad	103	24	24	27	28	77	25	25	27	
	Sierrita	85	19	22	21	24	57	19	20	19	
	Chino	70	20	21	16	13	12	4	5	4	
	Tyrone	34	7	7	10	11	29	10	10	10	
	Miami	9	2	2	2	2	5	2	2	2	
	Tohono	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
	Safford	60	10	11	20	20	59	21	16	22	
	その他	2	1	0	0	0	0	0	0	0	
	北米計	649	148	159	170	172	386	131	123	132	
	Cerro Verde(53.56%)	315	75	81	79	79	225	76	77	73	
	Candelaria/Ojos del Salado(80%)	202	45	44	58	55	128	44	44	40	
	El Abra(51%)	166	39	42	42	43	121	39	41	41	
	南米計	683	160	167	179	177	474	158	162	154	
	Grasberg(90.64%) **	496	91	101	116	189	516	183	183	150	
	Tenke Fungurume(57.75%)	0	0	0	0	0	41	0	16	24	
	中計	1,828	399	427	464	538	1,417	472	485	460	
他社権益分	-314	-72	-77	-80	-86	-255	-80	-89	-87		
合計	1,514	327	350	385	451	1,162	392	396	373		
金 (t)	北米	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	南米(80%)	4	1	1	1	1	2	1	1	1	
	インドネシア(Grasberg:90.64%) **	36	8	7	8	13	63	18	24	21	
	小計	40	9	8	9	15	66	19	25	22	
	他社権益分	-4	-1	-1	-1	-2	-6	-2	-2	-2	
合計	36	8	7	8	13	59	17	23	20		
モリブデン (kt: 金属純 分)	Henderson	18	4	5	6	3	10	3	3	4	
	北米(副産物) **	14	4	3	3	4	9	3	3	3	
	Cerro Verde(53.56%)・(副産物)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
	合計	33	8	8	10	7	19	6	6	7	

* 端数処理の関係で、個別の数字と計とは一致しないことがある

** JV相手の権益分を除いた生産量である

9. Kazakhmys

- ・2009年Q3は、高コスト鉱山の生産停止の影響から、銅鉱石、銅精鉱、銅カソード、亜鉛精鉱の生産は減少した。一方、金、銀の生産は増加した。Q1～3で備蓄していた銅鉱石はほとんど使い果たした状態であり、この生産の傾向は、2009年Q4も継続する見込みである。なお、銅カソードの生産については、年間生産目標の315 ktを維持できる見込みである。

1. 最近のトピックス

- ・2009年の銅鉱石生産は、Q1～3を通じて高コストの鉱山の生産停止の影響が大きいものの、既存生産の効率向上や在庫の活用により、一部が相殺されている。Q3も銅鉱石の貯鉱を使用したものの量的には少なく、Q3の時点でほぼ使い果たした状態である。銅鉱石のQ4の生産は、メンテナンスの影響などによりQ3よりも低下する見込みである。
- ・銅鉱石のQ3の生産は、前年同期比9.1%減の8,398 kt、Q1～3では前年同期比8.6%減の24,411 ktとなった。これは、高コスト鉱山の生産停止の影響を、既存鉱山における生産停止鉱山の人員や生産設備の活用、Nurkazgan West 鉱山からの新規生産などが一部相殺したためである。
- ・銅鉱石のQ3の品位は、前年同期1.32%から1.15%に低下し、Q1～3での品位は、前年同期1.25%から1.18%へと低下した。これは、前期同様、高品位である Akbastau 鉱山の輸送コスト高に伴う生産停止が主な理由であるが、Zhomart 鉱山の品位の改善、低品位の Kounrad 鉱山の生産停止などが品位低下の防止に寄与している。
- ・銅精鉱のQ3の生産は、前年同期比13.4%減の91.5 kt、Q1～3では前年同期比7.3%減の269.9 ktとなったが、自社精鉱のQ3の生産は、前年同期比9.4%減の89.5 ktとなったが、Q1～3では前年同期比0.5%減の267.9 ktとなった。これは、鉱石の減産にも拘らず、H1での貯鉱の活用、回収率の向上などが寄与したものである。
- ・銅カソードのQ3の生産は、前年同期比17.8%減の83.1 kt、Q1～3では6.7%減の256.9 ktとなったが、自社精鉱の生産でみるとQ1～3では0.1%増の252.3 ktとなっている。これは、他社からの購入分の減の影響である。Q4については、銅精鉱の生産減、備蓄銅鉱石の減少の影響から減産する見込みであるが、年間生産目標の315 ktは維持する予定である。
- ・亜鉛精鉱のQ3の生産は、前年同期比15.2%減の32.4 kt、Q1～3では前年同期比4.0%増の108.8 ktとなった。これは、鉱石生産の減少の影響を、備蓄鉱石の活用、回収率の改善、Karagaily 製錬所の改良が一部相殺したためである。
- ・銀のQ3の生産は、前年同期比6.8%増の126.0 t、Q1～3では前年同期比8.9%増の410.5 tとなった。これは回収率の改善などが理由である。
- ・金のQ3の生産は、前年同期比15.8%増の37.5千oz、Q1～3では前年同期比18.5%増の3.4tとなった。これには前期同様、金含有量の多い Abyz 鉱山からの貯鉱鉱石の取り崩し、Karagaily 精錬所の改良による回収率の向上が寄与している。

2. 財務状況(四半期毎のデータ更新なし)

(単位 : m US\$)

	2008 年			2009 年		
	年計	H1	H2	年計	H1	H2
売上高	5,151	2,838	2,313	1,648	1,648	
税引前利益 (EBITDA)	2,056	1,050	1,006	717	717	
当期損益 (Profit for the Period)	910	610	300	269	269	
資本支出(探鉱費含む) (Capital Expenditure)	701	373	328	202	202	

注) H2 は、年計データ及び H1 データとの差分。

3. 生産状況(主要鉱産物生産状況)

鉱産物	2008 年					2009 年				
	年計	Q1	Q2	Q3	Q4	9m	Q1	Q2	Q3	Q4
銅精鉱(k t)	399.8	86.0	99.8	105.7	108.6	269.9	87.4	91.0	105.7	
銅カソード(k t)	378.1	84.1	90.2	98.3	105.5	256.9	85.6	88.2	83.1	
銅ロッド(k t)	48.3	13.4	4.6	9.1	15.6	7.6	2.1	2.6	2.9	
亜鉛精鉱(k t)	137.3	33.6	37.6	38.2	32.8	108.8	39.8	36.6	32.4	
亜鉛地金(k t)	47.5	12.4	15.0	10.6	12.3	8.6	8.6	0.0	-	
金(k oz)	123.5	31.4	31.4	29.4	31.4	104.1	29.0	38.9	29.4	
銀(k oz)	16,710	4,020	4,309	3,794	4,587	13,196	4,437	4,708	3,794	

注) 生産量は金属純分。金及び銀は自社鉱石分を記載

注) Q2 及び Q4 生産量は、それぞれ半期データと前半期データとの差分

4. その他

- ・ 特になし。

10. Teck

- ・2009年Q3の売上は、石炭や亜鉛価格の低迷にも係わらず21.31億C\$と好調。同じく純利益は、2008年同期の424mC\$を上回り609mC\$となった。
- ・2009年Q3の操業継続中の鉱山からの収益は、経常外損益計上前で337mC\$、価格調整前だと270mC\$であった。
- ・2008年10月にFording社買収の際に生じた債務も債務負担削減計画が順調に進み、2009年Q3は債務額を約50億US\$まで減額し、さらに2010年初頭には11億US\$の返済が予定されている。

(1) トピックス

- ・2008年10月にFording社買収で生じた債務の内、2009年Q3は58.1億US\$のつなぎ融資の全額返済が完了。さらに借入金の40億US\$も返済し、現在の借入金残額は27億US\$となった。今後、Waneta Dam及びMorelos金プロジェクトの権益売却と、そしてCarmen de Andacollo鉱山及びトルコの2件の金プロジェクトの売上により、2010年初頭に11億US\$の返済を予定している。
- ・2009年7月、中国政府系ファンドの中国投資有限責任公司(China Investment Corp.)がTeck新株(Class B subordinate voting share: 101.3百万株式)を約15億US\$で取得し、資本参加。この投資資金をつなぎ融資及び期限付き融資等の返済に充てた。
- ・Carmen de Andacollo鉱山の銅初生鉱開発プロジェクトは鉱山用水に関する許認可を申請中で、現時点で2010年Q1に開始の予定。
- ・Antamina鉱山拡張計画(2011年末までに破碎工程の生産量を130kt/日まで拡張)のFS結果を株主が検討中。2009年Q4に本拡張計画実施の可否が決定される見込み。

(2) 財務状況

(単位:m C\$)

	2008年					2009年				
	年計	Q1	Q2	Q3	Q4	年計	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高 Revenues	6,779	1,571	1,805	1,740	1,663	5,546	1,708	1,707	2,131	
営業利益 ^(注)	2,364	614	869	679	202	1,966	636	636	694	
当期損益 Net earnings	659	345	497	424	-607	1,420	241	570	609	
売上高利益率 (%)	9.7	22.0	27.5	23.6	-36.5	25.6	14.1	33.3	28.6	
探鉱費 Exploration	134	19	26	44	45	31	11	8	12	

注) 営業利益は、売上高から操業経費(営業費、一般管理費、R&D、探鉱費等は含まず)、原価償却費及び債務償還費を差引いたもの

(3) 生産状況

① 主要鉱産物の生産状況

(石炭以外は純分)

鉱産物	2008年					2009年				
	年計	Q1	Q2	Q3	Q4	年計	Q1	Q2	Q3	Q4
銅鉱石 (k t)	260	45	52	79	84	228	74	78	76	
亜鉛鉱石 (k t)	663	175	171	168	149	522	167	173	182	
亜鉛地金 (k t)	269	74	61	69	65	174	58	60	56	
鉛地金 (k t)	85	26	20	18	21	57	19	19	19	
モリブデン(t)	3,228	735	774	770	949	2,522	851	814	857	
(k lb)	7,143	1,621	1,707	1,723	2,092	5,558	1,875	1,793	1,890	
石炭 (k t)	11,311	2,357	2,630	2,152	4,172	13,576	3,966	4,279	5,331	

注) 権益分のみ計上

② 主要保有鉱山の生産状況

(石炭以外は純分)

鉱山名(権益%)	2008年					2009年				
	年計	Q1	Q2	Q3	Q4	年計	Q1	Q2	Q3	Q4
Red Dog (100%) (Zn; k t)	19.5	139	130	132	115	431	137	143	151	
(Pb; k t)	628	36	32	29	26	95	32	31	32	
HighlandValley (97.5%) (Cu; k t)	13.2	26	27	30	33	85	27	29	29	
(Mo; t)	427	352	396	396	704	1,986	616	707	663	
(Mo; k lb)	36.4	776	873	873	1,552	4,381	1,358	1,560	1,463	
Antamita (22.5%) (Cu; k t)	1,175	17	21	20	20	53	18	18	17	
(Zn; k t)	133	17	21	22	19	70	21	24	25	
(Mo; t)	19.5	388	388	347	245	479	214	112	153	
(Mo; k lb)	628	855	855	765	540	1,057	472	247	338	
Teck Coal (100%) (石炭; k t)	13.2	2,357	2,630	2,152	5,235*	13,576	3,966	4,279	5,331	

注) 権益分のみ計上

11. Newmont

- ・2009年Q3の総収入は20億US\$、操業利益11億US\$、純利益388mUS\$(0.79US\$/株)となった。
- ・2009年Q3は2008年同期比でキャッシュコストが13%改善し、金価格の上昇と併せて操業利益は2008年同期比41%増の560US\$/ozとなった。
- ・2009年9月に豪州西部に所在するBoddington 鉱山が試験操業を開始。2009年Q4に商業生産に移行する予定。

(1) トピックス

- ・2009年Q3の金販売量は1.33moz(平均価格964US\$/oz)、同じく銅販売量は64mlb(平均価格2.8US\$/lb)で、金の販売量は2008年同期比4%増となった。金のキャッシュコストは2009年同期の467US\$/ozと比較して13%減の404US\$/ozとなった。各鉱山別では、ペルーYanacocha、インドネシアBatu Hijau、及び豪州Jundeeの売上は伸びたが、豪州Tanamiの売上は予想を下回った。
- ・2009年9月に20億US\$の優先債券発行が完了し、資金状態が強化された。その内訳は、①利子5.125%の優先債権(2019年満期)が約900mUS\$、②利子6.25%の優先債権(2039年満期)が約11億US\$である。
- ・2010年の負債分を除いた金販売量は、5~10%増の予定。米国ネバダやペルーYanacochaの低い生産量による減はあるが、Boddington 鉱山の生産開始とBatu Hijau 鉱山の好調な生産のため、全体では生産量が増加する見込み。ただし2010年の販売コストは、投資を行ったことにより最大約5%増となる見込み。

(2) 財務状況

(単位：m US\$)

	2008年					2009年				
	年計	Q1	Q2	Q3	Q4	年計	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高 Revenues	6,159	1,943	1,503	1,371	1,342	5,203	1,552	1,602	2,049	
営業利益 ^(注)	2,312	970	571	405	366	2,404	607	712	1,085	
当期損益 Net income	837	365	271	191	10	739	189	162	388	
売上高利益率 (%)	13.6	19.0	18.2	13.9	0.7	14.2	12.2	19.1	18.9	
探鉱費 Exploration	213	39	58	57	59	147	41	51	55	

注) 営業利益は、売上高から操業経費(営業費、一般管理費、R&D、探鉱費等は含まず)及び債務償還費を差引いたもの

(3) 生産状況

① 主要鉱産物の生産状況

(純分)

鉱産物	2008年					2009年				
	年計	Q1	Q2	Q3	Q4	年計	Q1	Q2	Q3	Q4
金 (t)	161.2	40.1	39.5	39.7	41.9	118.2	39.4	37.3	41.5	
(k oz)	5,184	1,290	1,271	1,277	1,346	3,798	1,267	1,198	1,333	
銅 (k t)	57	21	10	9	17	70	20	21	29	

注) 権益分のみ計上。金については販売量を計上

② 主要保有鉱山の生産状況

(純分)

鉱山名(権益%)	2008年					2009年				
	年計	Q1	Q2	Q3	Q4	年計	Q1	Q2	Q3	Q4
Nevada (権益 100%)	70	16.9	16.9	17.2	19.4	44.3	16.1	13.0	15.2	
(Au; 上段: t, 下段: k oz)	2,260	543	542	552	623	1,421	518	417	486	
Yanacocha (権益 51.35%)	29	8.0	7.1	7.2	6.7	25	8.0	8.3	8.7	
(Au; 上段: t, 下段: k oz)	929	257	227	230	215	800	256	265	279	
Batu Hijau (権益 45%)	57	15	11	14	17	69	17	23	29	
(Cu: k t)										

注) 権益分のみ計上

12. Barrick Gold

- ・2009年Q3、Barrickはヘッジ・ポジション解消を発表し、一部の金を買い戻したことから純損失53.5億US\$を計上。今後12か月で、全てのヘッジを解消する予定。
- ・2009年Q3の金生産1,900koz(キャッシュコスト456US\$/oz)は計画どおりで、2009年は金生産計画(生産量7,200~7,600koz、キャッシュコスト450~475US\$/oz)どおりの生産が見込まれる。
- ・2010年の生産量は7,700~8,100kozと増加する予定だが、2009年のキャッシュコストを下回る見込み。

(1) トピックス

- ・Barrickは9月3日、RBC Capital Markets社、Morgan Stanley社、JP Morgan Security社、Scotia Capital社が構成する証券株主企業連合と一括買取契約を結び、Barrick社普通株8,120万株式を30億US\$(一株36.95US\$)で売却すると発表。しかし、9月9日には、売却株式数を9,480万株式まで増やして売却額を35億US\$まで上げた。この売却代金の内19億US\$を金買い戻しに使い、全てのヘッジ・ポジションを今後12か月で解消する予定。ヘッジ・ポジションの解約に伴う契約の変更手数料は56億US\$である。今回のBarrick社の決定は、金価格の前向きな見通しを考慮したもの。
- ・タンザニアのBuzwagiプロジェクトも予定どおり開発が進んでおり、その他ドミニカ共和国のPueblo Viejo、Cortez Hill及びPascua-Limaプロジェクト等の開発も予定どおり進捗している。今後、全てのプロジェクトがフル稼働すると、現在より低いキャッシュコストで年間平均2,600kozの金生産が見込まれる。
- ・米ネバダ州のCortez Hillプロジェクトは500mUS\$の予算内で約85%の開発工事が完了。2010年Q1の生産開始を予定。フル稼働すると、最初の5年間で金生産量1,000koz(キャッシュコスト350~400US\$/oz)が見込まれる。
- ・ドミニカ共和国のPueblo Viejoプロジェクトは順調に進んでおり、金生産開始は2011年Q4の予定。サイト解体工事は全て終了し、土木工事は80%完了。オートクレーブ設備の組立工事も予定より早く進捗している。フル稼働すると、最初の5年は600~650koz/年(Barrick所有権益60%分)で生産の予定。キャッシュコストは275~300US\$/ozと見込まれ、マインライフは25年以上である。
- ・チリとアルゼンチン国境付近のPascua-Lama鉱山ではインフラ工事の準備を開始。フル稼働すると、最初の5年間で金750~800koz、銀35,000kozが生産され、キャッシュコストは20~50US\$と、世界でも低い鉱山となる。
- ・チリのXstrataが所有するEl Morroプロジェクトの70%権益を現金4.65億US\$で購入する契約を締結。Pascua-LamaとCerro Casaleプロジェクトの近傍に新たに金/銅プロジェクトを所有することとなった。

(2) 財務状況

(単位:m US\$)

	2008年					2009年				
	年計	Q1	Q2	Q3	Q4	年計	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高 Sales	7,913	1,958	1,967	1,878	2,110	5,952	1,827	2,029	2,096	
営業利益 ^(注)	3,004	942	821	588	653	2,241	611	787	843	
当期損益 Net Income	785	514	485	254	-468	-4,487	371	492	-5,350	
売上高利益率 (%)	9.9	26.3	24.7	13.5	-22.2	-75.4	20.3	24.2	-255.2	
探鉱費 Exploration	216	43	54	55	64	110	32	35	43	

注) 営業利益は、売上高から操業経費(営業費、一般管理費、R&D、探鉱費等は含まず)及び債務償還費を差引いたもの

(3) 生産状況

① 主要鉱産物の生産状況

(純分)

鉱産物	2008年					2009年				
	年計	Q1	Q2	Q3	Q4	年計	Q1	Q2	Q3	Q4
金 (t)	238.2	54.2	57.8	60.5	65.7	172	54.6	58.1	59.3	
(k oz)	7,657	1,743	1,857	1,945	2,112	5,525	1,755	1,866	1,904	
銅 (k t)	166	39	39	39	49	134	43	44	47	

② 主要保有鉱山の生産状況

(純分)

鉱山名	2008年					2009年				
	年計	Q1	Q2	Q3	Q4	年計	Q1	Q2	Q3	Q4
Porgera (Au; t)	19.5	4.5	4.7	5.1	5.2	12.1	4.6	3.9	3.6	
(Au; k oz)	628	144	152	165	167	396	150	128	118	
Cortez (Au; t)	13.2	2.6	3.2	3.1	4.3	10.6	2.8	3.6	4.2	
(Au; k oz)	427	83	103	102	139	349	92	118	139	
Lagunas Norte (Au; t)	36.4	7.3	8.1	10.9	10.1	24.6	7.3	8.0	9.3	
(Au; k oz)	1,175	234	262	353	326	801	237	261	303	
Zaldívar (Cu; k t)	133	33	31	29	40	102	34	34	34	

13. Grupo Mexico (GM)

- ・2009年Q3の売上高はQ2比31.9%増の13.96億US\$、同じく当期利益は20%増の2.89億US\$に達し、Q2に続いて業績は回復基調にある。
- ・Cananea銅山のストは依然として未解決。
- ・Asarcoの再建計画が完了し、GMが経営権を回復(2009年12月9日付けGM発表)

(1) トピックス

- ・2009年Q3の売上高は1,396.374mUS\$(前年同期比19.6%減)、当期利益は285.831mUS\$(同16.4%減)となり、鉱山の増産及び金属価格の上昇により2009年Q2から引き続いて回復基調にある。
- ・労働社会福祉省(STPS)が、Cananea銅山全従業員の解雇を認める裁定を4月14日付けで下したが、労組が徹底抗戦の構えを見せているため、同銅山操業再開の目処は立っていない。
- ・8月31日に米・破産裁判所がGMのASARCO(米国破産法第11章に基づく会社更生手続中)再建計画を支持する勧告を管轄の連邦地方裁判所に発出。(その後、11月13日付けで、連邦地方裁判所が同再建計画を承認。同再建計画の履行(現金・約束手形含めて債権者に39億US\$の支払)は12月に完了し、GMはASARCOの経営権を回復した。)
- ・生産性の向上及び副産物価格の上昇により、鉱山部門のキャッシュコストはQ2の0.509US\$/lb-CuからQ3は0.274US\$/lb-Cuに削減。
- ・9月30日現在の年間資本投資額は411mUS\$。Tia Maria銅プロジェクトの総予算額は934mUS\$で、現在まで250mUS\$を投資済み。同プロジェクトの開発工事は2011年に完了予定で、120,000t/年の銅カソードを生産予定。Toquepala銅山の選鉱プラント拡張プロジェクト(2012年から年間産銅量を100,000tに拡大)には、72mUS\$を投資済み。
- ・5月に竣工したLa Caridad製錬所の煙灰・排ガス処理プラント工事は試験運転を経て、9月から稼働を開始した。

(2) 財務状況

(単位：m US\$)

	2008年					2009年				
	年計	Q1	Q2	Q3	Q4	年計	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高 Sales	5,945.7	1,736.1	1,758.2	1,758.2	713.8	3,279.5	824.1	1,059.0	1,396.4	
当期損益 Net Income	1,071.2	452.6	451.7	451.7	-175.2	542.4	18.5	238.1	285.8	
売上高利益率(%)	18.0	26.1	25.7	25.7	-24.5	34.6	2.2	22.5	9.9	
全投資額(*)	730.1	97.7	172.1	186.3	274.1	410.5	85.5	186.2 ^(注)	138.8	

(*) 探鉱費のほか他の投資額を含む全額

(注) Q2の発表から修正あり

(3) 生産状況(主要鉱産物)

	2008 年					2009 年				
	年計	Q1	Q2	Q3	Q4	年計	Q1	Q2	Q3	Q4
銅 (k t)	488.9	127.9	117.3	118.7	125.2	357.8	119.8	119.3	118.7	
銀 (t)	383.0	96.1	95.8	94.5	96.6	296.9	97.8	104.6	94.5	
金 (k g)	465.0	127.0	112.0	113.0	113.0	232	116.0	116.0	未発表	
モリブデン (k t)	16.39	3.92	3.90	4.54	4.03	13.64	4.06	4.39	5.19	
亜鉛 (k t)	106.9	24.8	27.6	26.9	27.7	81.5	27.0	27.6	26.9	
鉛 (k t)	20.4	5.2	5.3	5.0	5.0	11.2	5.3	5.9	未発表	

(4) その他

- ・ GM の製錬所は、MM 3、SCC 2 の計 5 か所。
- ・ 鉄道部門子会社 ITM の純益は、前期 19.6m US\$、当期 40.0m US\$と安定収益を確保。

(参考)GM の組織 (()内は権益比率)

鉱業部門 : AMC (100%) — SCC (AMC : 80%) — MM (SCC : 100%)

└ ASARCO (100%)

鉄道部門 ITM (75%) — GFM (ITM : 74%) — FERROMEX (GFM : 100%)

└ FERROSUR (ITM : 100%)

(注) SCC (Southern Copper Co.) は、SPCC (Southern Peru Copper Co.) から社名変更 (2005/10/11)。

m : 百万

14. KGHM Polska Miedz

・2009年Q3の売上高は、銅価の下落等により前年同期比3%減の2,636mPLN。当期営業利益は、銅価の下落、銅販売量の減少等により、前年同期比47%減の477mPLNとなり、当期利益は、前年同期比47%減の382mPLNとなった。

(1) トピックス

- ・2009年Q3の生産量は、電気銅が125 kt(外部からの調達原料30 ktを含む)、銀が280 tであった。
- ・売上高は、対US\$平均レート2.94 PLN/US\$(前年同期2.20 PLN/US\$)とPLN安となったものの、銅の平均LME価格が5,840 US\$/t(前年同期7,693 US\$/t)と大幅に下落した。また、銅販売量も120 ktと(前年同期133 kt)減少したことにより、売上高は、前年同期比3%減となった。
- ・操業コスト(Operating Costs)は、1,865m PLNで、前年同期比6%減(118m PLN減)となった。賞与等の人件費の減少、燃料等原材料の価格の下落により操業コストが減少した。

(2) 財務状況

(単位:kUS\$換算)

	2008年					2009年				
	年計	Q1	Q2	Q3	Q4	年計	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高 Sales	11,302,913	3,002,314	3,028,621	2,719,651	2,552,327	7,735,698	2,377,177	2,722,083	2,636,438	
当期利益 Profit for the period	2,920,378	982,196	832,494	718,114	387,574	1,854,834	627,878	844,756	382,200	
売上高利益率(%)	25.84	32.71	27.48	26.40	15.19	24.0	26.4	31.0	14.5	

(3) 生産状況

主要鉱産物の生産状況

(単位:t 純分)

	2008年					2009年				
	年計	Q1	Q2	Q3	Q4	年計	Q1	Q2	Q3	Q4
銅地金(t)	526,947	128,947	129,000	133,000	136,000	365,000	124,000	116,000	125,000	
銀(t)	1,193	292	308	253	340	887	312	295	280	

(4) その他

- ・特になし

15. Antofagasta Plc

- ・2009年Q3の銅生産量は109,900 tで前期比3.4%増となった。これは主としてEl Tesoro 鉱山の生産増によるものである。
- ・副産物クレジットを含むキャッシュコストは81.7¢/lbで、前期の97.5¢/lbより15.8¢/lb(16.2%)減であった。これは、2009年Q3のモリブデン平均価格が14.7US\$/lbで、前期の9.2US\$/lbから5.5US\$/lb(59.8%)上昇したことに伴うもの。
- ・2009年Q3の副産物クレジットを除くキャッシュコストは118.3¢/lbで、前期の120.0¢/lbとほぼ同水準。

(1) トピックス

- ・El Tesoro 鉱山のQ3の銅地金生産量は25.8 ktで前期比6.1 kt(31.0%)増であったが、これは2009年4月から採掘を開始したTesoro北東鉱体からの鉱石処理増加及び建設中のEsperanza 鉱山で剥土された低品位酸化鉱について、2009年7月よりヒープリングを開始したことによるものである。
- ・Michilla 鉱山では、2010年以降の操業延長に向け、同鉱山に26.5mUS\$を投資し、2010~2012年間に112 ktの銅地金生産を行うことを決定した。

更に2018年まで操業を延長するため、8.2mUS\$で経済性のある鉱床規模把及びリーチングのためのF/S実施、37.8mUS\$で2015年までの採掘計画立案、更に13.2mUS\$で地質調査を行う予定である。
- ・Los Pelambres 鉱山の拡張工事は、2009年末の工事完了に向け順調に進捗中である。

※粗鉱処理量を130 kt/日から175 kt/日に拡大し、年間銅生産量を90 kt増大する計画。
- ・Esperanza 鉱山開発プロジェクトは、2010年後半の操業開始に向け順調に工事進捗中である。

※銅191 kt/年、金6.7t/年、銀34.2 t/年生産予定(モリブデンは2015年より生産予定)
- ・2009年8月、2010年末終了予定でAntucoya 銅 SxEw プロジェクトに係るFSを開始した。

※当初Michilla 鉱山のSxEw プラントへの鉱石供給を目的としていたが、単独プロジェクトとなっている。本プロジェクトは、2006年4月にSQM(チリ)より8mUS\$で買収(埋蔵量322mt、Cu 0.4%)。
- ・2009年9月、Sunridge Gold Corp(本社Toronto)がエリトリアに保有するAsmara 銅、亜鉛、金、銀プロジェクトについて、今後5年間で10mUS\$の探鉱費を負担することにより、同プロジェクトの60%権益を獲得することができるオプション契約を締結した(本契約には、FS費用負担で更に15%の権益獲得できる内容も含まれている)。

この他、2009年10月には5mUS\$でSunridgeの発行済み株式約18%を取得した。
- ・2009年10月、Ormonde Mining(本社ダブリン)がスペイン南部に保有するLa Zarza 銅、鉛、亜鉛、金、銀プロジェクトについて、7mUS\$で探鉱費及び鉱床評価費用を負担することにより同プロジェクトの51%権益を獲得することができるオプション契約を締結した(本契約には、FS費用負担で更に24%の権益獲得できる内容も含まれている)。

(2) 財務状況

(単位：mUS\$)

	2008年			2009年		
	年計	H1	H2	年計	H1	H2
売上高	3,372.6	2,407.0	965.6	1,178.3	1,178.3	
当期利益	842.9	792.8	50.1	235.7	235.7	
売上高利益率(%)	25.0	32.9	5.2	20.2	20.2	
探鉱費	54.9	22.4	32.5	31.3	31.3	

(3) 生産状況

① 主要鉱産物の生産状況

(単位：kt)

	2008年					2009年				
	年計	Q1	Q2	Q3	Q4	年計	Q1	Q2	Q3	Q4
銅鉱石(k t)	477.7	114.6	119.0	123.7	120.4	328.1	111.9	106.3	109.9	
モリブデン鉱石(k t)	7.8	1.8	2.0	1.9	2.1	5.8	1.7	2.0	2.1	
キャッシュコスト(¢/lb)	87.3	72.2	72.3	76.4	127.7	276.7	97.5	97.5	81.7	

※銅精鉱中の Payable Copper 量

キャッシュコスト：加重平均コスト(副産物クレジット含む)

② 主要保有鉱山の銅生産状況

(単位：kt)

	2008年					2009年				
	年計	Q1	Q2	Q3	Q4	年計	Q1	Q2	Q3	Q4
Los Pelambres (60%)	339.2	79.1	84.7	90.0	85.4	231.7	80.2	77.3	74.2	
El Tesoro (70%)	90.8	23.9	22.7	21.5	22.6	65.9	20.4	19.7	25.8	
Michilla (74.2%)	47.7	11.5	11.6	12.3	12.3	30.6	11.4	9.3	9.9	

※Los Pelambres：銅精鉱中の Payable Copper 量

El Tesoro、Michilla：銅地金量

(4) その他

なし

16. Peñoles

- ・2009年Q3の売上高(Net Sales)は914.5m US\$(前年同期比24.7%減)、当期利益は37.4m US\$(同57.2%減)。
- ・貴金属部門子会社である Fresnillo plc. の銀生産量は四半期での過去最大を記録。

(1) トピックス

- ・Trrecon 製錬所のストが4月中旬に解決したことにより、全金属のQ3生産量がQ2比で大幅増となった(銀36%、鉛31%、亜鉛12%、金12%の増加)。
- ・金属生産量の増大と価格の上昇により、Q3売上高はQ2比で大きく伸びたが、販売費、ヘッジコスト、操業費の増加、及びQ3はQ2で受けた税務上の優遇措置の対象とならなかったため、当期利益は大幅に減少した。
- ・2001年に閉山したメキシコ Guerrero 州の Rey de Plata 多金属(Zn-Pb-Cu-Ag-Au)鉱山周辺で試錐探査を実施中。現在までに、計画の20%に相当する総延長15,800m、35孔のボーリングを終了。

(2) 財務状況

(単位：m US\$)

	2008年					2009年				
	年計	Q1	Q2	Q3	Q4	年計	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高 Net Sales	4,835.5	1,365.2	1,357.4	1,214.1	898.8	2,261.8	670.5	676.8	914.5	
当期損益 Net Income	704.9	94.3	623.0	87.4	-99.8	220.1	-17.7	200.4	37.4	
売上高利益率 (%)	14.6	6.9	45.6	7.2	-11.1	31.1	-2.6	29.6	4.1	

(注) Peñoles 社クォーターリーレポートには当期損益のドル建ての記載がない。上表では同レポート記載の Peso 建ての金額と四半期毎の平均レートをを用い US\$ に換算した(平均レートは、2008年Q1: 10.8101 Peso/US\$, Q2: 10.4374 Peso/US\$, Q3: 10.3113 Peso/US\$, Q4: 12.9859 Peso/US\$, 2009年Q1: 14.3623 Peso/US\$, Q2: 13.3578 Peso/US\$, Q3: 13.2628 Peso/US\$ である)。

(3) 生産状況(主要鉱産物)

(純分)

	2008年					2009年				
	年計	Q1	Q2	Q3	Q4	年計	Q1	Q2	Q3	Q4
金鉱 (kg)	11,897	3,136	3,095	2,749	2,917	9,180	3,056	3,225	2,899	
金地金 (kg)	56,261	14,315	14,260	13,059	14,628	17,821	5,791	5,684	6,346	
銀鉱 (t)	1,433	348.6	369.8	362.3	351.8	1,158.9	381.7	388.3	388.9	
銀地金 (t)	3,678	852.1	929.9	960.8	935.7	1,618.1	364.1	531.0	723.0	
鉛鉱 (t)	61,296	15,070	15,531	15,356	15,339	47,957	15,632	16,045	16,280	
鉛地金 (t)	141,395	35,788	36,168	34,243	35,196	78,104	13,755	27,898	36,451	
亜鉛鉱 (t)	182,855	45,644	46,004	45,229	45,978	140,483	46,879	47,653	45,951	
亜鉛地金 (t)	224,556	49,774	57,330	56,469	60,983	177,948	60,819	55,238	61,891	
銅鉱 (t)	27,219	5,835	6,677	7,123	7,583	10,427	3,672	3,562	3,193	
銅カソード (t)	7,289	1,879	1,883	1,491	2,036	15,262	5,314	5,148	4,800	
ビスマス (t)	1,133	234	312	307	280		n.d.	n.d.	n.d.	

(4) その他

Peñoles の主要鉱山は、Fresnillo (フレスニージョ : 金・銀・鉛・亜鉛)、La Herradura (ラ・エラドゥーラ : 金・銀)、La Cienega (ラ・シエネガ : 金・銀・鉛・亜鉛)、Francisco I. Madero (フランシスコ・I・マデーロ : 亜鉛・鉛)、Tizapa (ティサパ : 金・銀・鉛・亜鉛・銅)、Bismark (ビスマルク : 亜鉛)、Naica (ナイカ : 銀・鉛・亜鉛・銅)、Sabinas (サビナス : 銀・鉛・亜鉛・銅)、Milpillas (ミルピージャス : 銅 (2006 年生産開始)) である。

17. PT Antam

- ・売上高 1.9 兆 IDR(ルピー)。前期比 7%増、前年同期比 16%減。
- ・フェロニッケル生産量 2,595t、前期比 7%、前年同期比 53%それぞれ減。Pomalaa FeNi 製錬所 3 号炉修繕を 5 月中旬～9 月に実施、10 月に運転再開。
- ・ニッケル鉱石生産量 1,744 kt。前期比 2%減、前年同期比 62%増。

(1) トピックス

①Pomalaa フェロニッケル製錬所 3 号炉修繕完了

南東スラウェシ州にある Pomalaa フェロニッケル製錬所 3 号炉の修繕を 5 月中旬から行っていたが、9 月 16 日から試運転を行い 10 月 20 日に生産を再開した。耐火煉瓦が弱くなった部分で金属熔液漏出の兆候が見られたため、7 月から予定していた修繕を早めたもの。

②Cibaliung 金山開発プロジェクト 100 権益取得

Arc Exploration 社(本社：豪・Sydney、以下“Arc 社”)が保有する Banten 州 Cibaliung 金山の権益 95%の Antam への引継ぎが 7 月 7 日に完了し、100%の権益を保有するに至った。同金山の埋蔵金量は 12.8t、マインライフ 6 年、2010 年後半に生産開始、2011 年以降 2t/年の金生産を計画している。同金山は、2008 年 Q2 に生産開始を計画していたが、開発費の高騰と 2008 年秋以降の金融危機により開発が中断されていた。Arc 社の銀行団は、Antam による Arc 社債務引受け、プロジェクト推進を条件に権益引継ぎを承認していた。

(2) 財務状況

(金額単位：mUS\$または mIDR)

年(暦年) 四半期	2008 年					2009 年				
	年計	Q1	Q2	Q3	Q4	年計	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高 Net Sales 〔①〕 (mIDR)	9,591,981	2,091,781	3,129,945	2,232,094	2,105,751	6,267,708	2,641,606	1,755,379	1,870,723	
〃 (m US\$)	<i>(1,000.3)</i>	<i>(226.5)</i>	<i>(337.8)</i>	<i>(242.1)</i>	<i>(190.9)</i>	<i>(566.3)</i>	<i>(231.0)</i>	<i>(166.7)</i>	<i>(177.6)</i>	
当期利益 Net Income 〔②〕 (mIDR)	1,368,139									
〃 (m US\$)	<i>(142.7)</i>									
売上高利益率(%) 〔③=②/①〕	14.3									
輸出額 Export Sales (mUS\$)	775.8	209.5	307.1	173.9	135.9	380.2	131.6	130.2	118.4	
・ FeNi (mUS\$)	371.0	35.4	173.5	105.2	58.2	131.9	12.1	73.8	46.0	
・ ニッケル鉱 (mUS\$)	306.7	126.9	94.2	53.1	35.8	114.2	22.4	41.7	50.1	
高品位鉱 (Ni 2%超) (mUS\$)	220.7	77.8	69.8	44.1	32.4	90.6	18.6	31.6	40.4	
低品位鉱 (Ni 2%以下) (mUS\$)	86.0	49.1	24.4	9.0	3.4	23.6	3.8	10.1	9.7	
・ 金 (mUS\$)	74.4	42.8	31.0	8.9	37.6	123.7	93.6	11.8	18.3	
・ 銀 (mUS\$)	7.4	2.9	2.5	1.1	1.0	5.8	2.3	1.3	2.2	
・ ボーキサイト (mUS\$)	16.3	1.5	6.0	5.7	3.3	4.5	1.2	1.6	1.7	
国内出荷額 Domestic Sales (mIDR)	2,095,404	156,941	285,172	633,847	598,950	2,181,365	1,092,677	368,917	719,771	
〃 (m US\$)	<i><219.0></i>	<i><17.0></i>	<i><62.0></i>	<i><68.8></i>	<i><54.3></i>	<i><197.1></i>	<i><95.6></i>	<i><35.0></i>	<i><68.3></i>	
〔参考〕為替レート (IDR/US\$)	9,589	9,237	9,265	9,218	11,028	11,067	11,434	10,531	10,531	

※2008 年計の売上高及び当期利益はアニュアルレポートから、それ以外のデータは四半期報告から転記した。各四半期の集計値と年計とは合致しないことがある。

※為替レートは Antam クォーターレポート掲載の期中平均値である。

※太字は US\$, 斜体字は為替レートからの換算値 (JOGMEC が換算) である。

(3) 主要鉱産物の生産状況

	2008年					2009年				
	年計	Q1	Q2	Q3	Q4	年計	Q1	Q2	Q3	Q4
フェロニッケル(t)	17,566	4,362	4,152	5,512	3,540	8,677	3,296	2,786	2,595	
ニッケル鉱石(wmt)	6,571,764	2,351,067	1,878,403	1,076,873	1,265,421	4,579,798	1,058,350	1,777,075	1,744,373	
High Grade (wmt) (品位 Ni 2%超)	4,027,520	996,297	1,258,111	815,413	957,699	2,475,849	554,774	913,206	1,007,869	
Low grade*(wmt) (品位 Ni 2%以下)	2,544,244	1,354,770	620,292	261,460	307,722	2,103,949	503,576	863,869	736,504	
金(kg)	2,833	935	577	561	761	1,945	715	644	587	
銀(kg)	25,348	7,633	5,734	5,162	6,820	17,383	6,250	5,544	5,589	
ボーキサイト(wmt)	1,152,322	181,141	339,286	511,379	120,516	696,588	265,971	67,095	363,522	

(4) 探鉱

当期の探鉱費は、ラテライトニッケル 76 億 IDR、金 92 億 IDR、ボーキサイト 51 億 IDR 及び石炭 2 億 IDR、合計 220 億 IDR を支出した。探鉱地域は次のとおり。

<ニッケル>

州	探鉱地域	調査内容	探鉱支出額(m IDR)
ハルマヘラ	Sangaji	ボーリング調査 7,731m ほか	4,200
	Pakal	ボーリング調査 3,641m ほか	
南東スラウェシ	Mandiod, Tapunopaka, Bahubulu	ボーリング調査 3,388m ほか	3,400

<金>

州	探鉱地域	調査内容	探鉱支出額(m IDR)
ジャンビ	Muara Maderas	地質精査 432 ha ほか	1,300
西ジャワ	Pongkor	ボーリング調査 8,312m ほか	6,000
	Cibaliung	地質精査 96 ha ほか	186
	Papandayan	地質精査 299 ha ほか	395
中央ジャワ	Tirtomoyo, Jatisrono	地質精査 38 ha ほか	270
	Ajibarang, Kebasen	地質精査 270 ha ほか	240
南東スラウェシ	Wowoni, Kolono	地質精査 22 ha ほか	355
西スラウェシ	Mao	—	—
パプア	Oksibil	地質準精査 48 ha ほか	104

<ボーキサイト>

州	探鉱地域	調査内容	探鉱支出額(m IDR)
西カリマンタン	Mempawah, Landak	グリットテストピット	2,900
	Munggu Pasir	グリットテストピット	1,300
	Tayan	グリットテストピット	940

合弁事業は以下のとおり。

合弁企業	鉱種	PT Antam 権益(%)	パートナー	ステージ
PT Nusa Halmahera Minerals	金	17.5	Newcrest Singapore Holding Pte Ltd.	生産
PT Dairi Prima Minerals	鉛・亜鉛	20	Herald Resources	開発
PT Weda Bay Nickel	ニッケル	10	Eramet, Mitsubishi (Weda Bay Minerals)	プレ FS
PT Sorikmas Mining	金	25	Oropa Ltd.	探鉱
PT Gorontalo Minerals	金	20	PT Bumi Resources	休止
PT Sumbawa Timur Mining	金	20	Eastern Star Resources	休止
PT Pelsart Tambang Kencana	金	15	Pelsart International NL, Australia	休止